

定時制の灯を守ろう!

NO. 85

2005.9.6

守る会連絡会便り

都立定時制高校を守る会・連絡会

URL: <http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>

連絡会事務局発行

都教委要請報告

守る会連絡会の都教委要請が7月29日(金)午後1時半から一時間行われた。都側からは藤本学務部改革担当副参事他4名が、守る会側の参加者は約20名であった。以下ごく概略を事務局の文責で報告したい。

要請は森代表が「すでに要望書をお渡ししてあるが、特に昨年に続き今年も二次募集で定員超過で不合格者が出た。昨年より広域で生じている。それらについて来年の改善に向け動いていただくようお願いします。」と挨拶して、事前に渡してあった要請書(既報)の8点についての都側の見解を質した。これに対し都側からはそれぞれの点について極めて形式的な回答が行われ、それに対する守る会側からの質問や意見が活発に出された。

<以下次ページ>

代表 4.5の募集停止による定員超過では深刻な事態だ。来年度に向けてどう改善していくのか。二次募集の応募倍率が定員を上回った学校が13校ある。立川では1.91倍になっている。二次でこうした生徒が落とされることになっている。二次で落ちてしまったら生徒たちは対応できない。改革を進める立場でも、対応はしなければならないのではないかと。進学を諦めた生徒も実際に出てきている。都教委の方できちんと調べるべきだ。補足説明をしてほしい。

Y 補足して話をさせてほしい。昨年の「大江戸現象」について、同じことが生じない様に指摘してきたところだ。8学区9学区で46名の生徒が落とされている。地域ごとに見れば全都の総枠とは異なっている。この地域の問題を検討してほしい。

都 昨年大江戸に続いて多摩でも生じている。枠が確保しているというのは3次募集も含めた形で、立川を不合格になった場合、武蔵や三鷹が3次を行っている。

Y かなり離れているので受験を諦めているケースが生じている。個別に追跡調査をする必要がある。立川で不合格になった30名がどうなっているか調べてほしい。

都 ある程度は調査をしたいが限界があると思われる。

Y それを公表してほしい。

S 中央線沿線守る会だが、立川がダメでも武蔵も三鷹もあるといわれたが、武蔵は校舎移転もあるので、躊躇するケースもある。八王子でも定員一杯で大変な状況になっている。入学できる定員を確保してほしい。

T 定時制に不登校の生徒が恐る恐る受験している。落ちるかも知れないという不安はとても大きい。来ればいつでも受け入れてくれる学校の存在が大切だ。

O 今年は生徒数が増えて生徒が荒れている。この一学期だけ見ても先生とのコミュニケーションが取りづらくなっている。定員一杯では無理がある。

都 定時制の今の実態が様々な生徒が入っているのが厳しいというのは分かるが、定員の枠の中でのことであり、我々もどういう方法があるか検討していきたい。

Y 生徒のニーズに合った学校をつくっているというのは分かるが、都が思っている学校に、そのねらい通りの生徒が入学していない。

M ぜひこれらの事態を来年は起こさない様に実態を調査してほしい。

「障害児・者」の高校進学を実現する連絡協議会(「障」と略) 家の子どもは何とか定員内で入れたが、次の学年からは定員一杯で入れなくなっている。次に続く人がいてくれると良いなと思っていたのでショックだった。遠足でも周りの生徒たちが車椅子を押してくれた。話せない子もいるが先生はそれでも彼の訴えることがあったと言ってくれた。後一年で卒業だが、普通高校に行ってもまだいろんなことがあるが、みんなが入れることが必要だ。障害のあるこの子にとっては、近くにあり通えるから意味があるし、誰でも通えるということが大切だ。

Y 通えるところは自宅から近いところだ。

障2 私の子どものも障害があった。一橋を卒業した。願書を一人で出しに行った。中学と自宅に電話があり、願書を一度引き戻してくれと言われた経緯があり、その後入学させてもら

拡大幹事会のお知らせ

日時: 9月17日(土) 19:00 ~

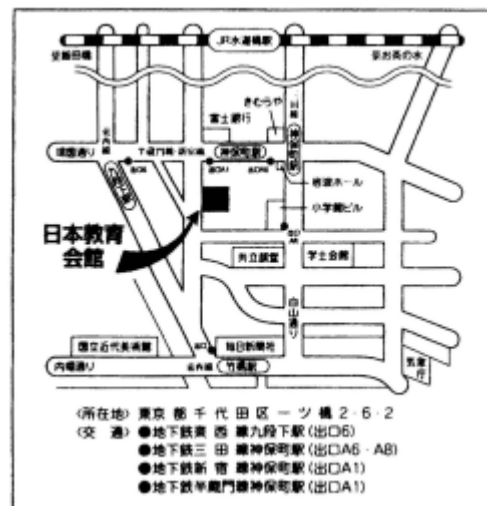
会場: 日本教育会館7F
(都高教会議室)

議是頁:

05二次試験不合格者の進路についての追跡調査について

総武線沿線の定時制高校募集停止延期の都議会陳情への支援について

守る会連絡会集会等今後の活動について



**東京都教育庁
都立学校改革推進担当参事 殿**

**都立定時制高校を守る会・連絡会
代表 森 光男**

**平成 17 年度都立高等学校入学者選抜 定時制過程第二次募集における
「不合格者」追跡調査の実施等についての要望**

標記の件に関し「新たな実施計画」の遂行過程に於いて、今年度も多くの「不合格者」が出ています。夜間定時制高校についても二次募集の段階で多数の「不合格者」が今年度出ています（二次募集までの「不合格者」累計 立川高校30名、久留米高校9名、福生高校7名、大山高校12名、豊島高校8名、大森高校10名 以上定時制課程）。特に心がいたむのは昨年度「大江戸高校」の開校に伴って周辺校の募集停止が行われたことによって、旧第6学区に於いて多数の「不合格者」を出したことと同様の現象が他地域にも広がってきたことです。また不登校生の高校進学之道としても位置づけられている「チャレンジスクール」についても、全ての高校において開校以来常に第一次募集の段階で高倍率となっております。（二次募集までの「不合格者」累計 大江戸高校385名、桐ヶ丘高校195名世田谷泉高校218名）そこで「不合格」となった生徒も夜間定時制高校の二次募集に応募してきていることが考えられます。様々な事情から「高校でのやりなおし」を求める「不登校体験」を持つ生徒が、もし一次だけでなく二次募集においても不合格となっているとすれば、学習権を保障する立場からも放置できない問題です。

ある中学校の教師は「永年教師をしているが、定時制高校を受験して(二次試験で)不合格者を出したことは初めてだ」と語っています。希望する近くの高校に入れず遠くの高校に通っている生徒、そのため高校進学をあきらめた生徒等15歳の春を涙で迎えた子ども達が多く生まれています。

教育庁は「定員枠は全体的にはバランスが取れており問題はない」と主張していますが、様々な課題を抱えている子ども達にとっては、何よりも近くの高校に通えることが一番の課題なのです。上述のような地域的問題の発生は、いくら「定員枠が全体的にはバランスが取れており問題はない」といっても、子ども達の一番の課題を困難にさせ、その負担を子ども達に押しつけてしまっています。

再び「15歳の春を泣かせない」ために、下記のような調査を実施し、至急対応策を講じるよう要望いたします。

記

1. 先の懇談の際、貴職は「今後も卒業生の進路状況については調査を行う」と答えておられましたが、その立場から今年度の入学者選抜(2次募集)で「不合格者」を出した夜間定時制高校について、「不合格者」がその後他の高校に入学したのか或いは進学を断念したのかを追跡調査を実施し明らかにして頂きたい。

2. 例年教育庁は「都立高等学校入学者選抜受験状況」を公表しているが、2次募集までなので3次、4次募集についても同様(募集人員、応募人員、受験人員、合格人員、入学手続き人員)の発表を行ってほしい。

以上

えた。入学後はすんなり受け入れてもらえた。細やかな配慮をしてもらえた。息子の場合は進路も決まっていたので、担任がハローワークにも通ってくれた。大学受験したが、その時も担任が大学にも足を運んでもらった。いろいろ最後までやってくれて、これが定時制高校の良さかなと思った。今年の春受検した子の中に、全日を受けた後に近くの定時制を受けようとしたら、定員が10名もオーバーしてしまった。3次で別の定時制に入ったが、障害を持っている子の中には、通学に介助を必要とする子どもも多い。従って二次では定員を超えてしまうので最初から定時制を受けざるを得なくなっている。江戸川に住んでいて総武線沿線の定時制がどんどんなくなっていくのは本当に寂しい。あの地域は縦のラインがほとんどない。

S 荻窪で耐震工事をやるといわれたが、本来なら立て替えが必要なのだが、補強工事といわれる。工事が終わるまでプレハブで授業をやり、工事の騒音や振動などが予想される。住民説明会にもいったが納得の行く様な説明がされないまま強行された。杉並ならもっと広い敷地もある。クーラーを設置するとはいわれるが、狭いスペースでこれからの2年間は大変そうだ。中高一貫校になる学校との落差が大きい。これは教育の差別化だと前の伊藤課長が仰ったが、差別とは悪いこといけないことだ。

Y 時間がなくなったので1.について、国際化しようとする中で国連を中心に外交活動をやるようしている時に、国連の子ども権利委員会から名指しされたことについて、都教委として意見表明する必要があるのではないかと、勧告の趣旨をどう見ているのか。それに東京弁護士会の意見についても、自宅や職場から30分以内にしなさいとしている。これらをどう考えているのか。

都 公式には私どもに直接勧告されたものではないとしか言えない。文科省からは何も出ていない。申し訳ないが私の立場では、これ以上言えない。

障 都条例で11時過ぎると問題だとされているが、どう考えるか。

都 11時過ぎて出歩いては - - -、問題を前提には答えづらい。大江戸の選考基準をどうすれば良いと考えるのか。(ヤジ 全入にすればいい。)

Y 不登校の子どもたちは自己表現が苦手だ。だから内申やペーパーテストがなくても結果は同じになる。

T 大江戸は進路指導が不適切でミスマッチを起こしているという発言があった。ミスマッチを解消する様に来年に向けて取り組むといわれた。アイデアはあるかと問われたが、それではこれまで何をしてきたのかが問われてしまう。ただ、方法はない訳ではない。ミスマッチの解消のために都教委は何をしてきたのか。どれだけの成果を上げたのか。

都 入学選抜の精度を上げるにはどうするか。自己表現が上手ければ入れる訳ではない。この点で校長と話している。不登校経験のある生徒を中心に受け入れると言っていて100%とは言っていない。

代表 不登校の生徒たちやハンディのある生徒たちにとって、倍率があることがいかに厳しいかということをやび考えて定時制高校を維持して頂きたい。引き続き調査をして頂くということで今後また要請を受けて頂きたい。

都 上司にも伝えて関係部署にも対応していきたい。皆さんの声についてはまたお聞きしたい。